

「和歌山県統合型リゾート（IR）」公聴会

公述人のご意見と和歌山県の考え方

【第1回 令和4年3月12日開催分】

	公述人 1
区域整備計画（案）に係る意見	<p>マリーナシティへ IR・カジノ誘致をする計画に反対する理由を述べたいと思います。IR と言いますが、その推進力はカジノです。カジノというのは賭博であり、他人の不幸の上に立って一獲千金を得ようとするものです。ギャンブル依存症が心配です。これが、第一の根本問題でございます。</p> <p>2つめの問題は、IR 誘致に当たっては、ホテル・展示場・国際会議場の設置が義務づけられています。12,250 人収容のホテル、幕張メッセのような展示場、そして、6,000 人以上収容の大会議室と 6,000 人以上収容の中小会議室を備えた国際会議場。和歌山市にとってはとてつもなく大きな施設であります。採算をとれるはずもない施設を作って、カジノ収益で埋め合わせをするということでしょう。県はホテルなどの採算性については、民間が投資するんだからと言い、国際会議場は国が足りないと言っていると言って、自らの責任で、需給関係の判断をしておりません。</p> <p>和歌山市内の宿泊施設はどうなるのか。ビッグホエールなどの利用はどうなるのか。和歌山の経済・施設利用を歪めるものです。既存の宿泊施設等との差別化、すみわけなどできる保証はどこにあるのでしょうか。</p> <p>しかも、県が言っているように、大阪と共存ということになると、大阪にもこういった施設が新たに作られることになる。ますます大変です。これが第 2 の重大な問題です。</p> <p>以上 2 つの点については、県が当初考えていた構想と国の政策はかけ離れてしまっています。当初県は外国人専用だから、日本人のギャンブル依存症は心配ないと言っていました。また、巨大ホテル展示場、国際会議場の併設については、「大都市型だから和歌山県には合わない」として、義務づけないように要望しておりました。</p> <p>しかし、和歌山の期待は、見事に裏切られ、今日のような形になってしまいました。和歌山県としては、ここで潔く計画を撤回すれば良かったんです。</p> <p>それでも、IR・カジノに執着する和歌山県には、いくつもの壁が立ちはだかっています。まず、高い評価をされていましたサンシティが辞退しました。この企業は、反社会勢力と繋がりがあるのではないかと追及され、県当局も調査するとしていたものです。</p> <p>残ったクレアベストは、県と基本協定を結ぶその日に経営責任者が交代するなど「これで責任を持てるのか」という心配が広がりました。</p> <p>この事業への融資を、どこがするかも明らかになっていないようです。</p> <p>こうした中で、これまで推進の立場をとっておられた県議会議員の皆さんからも心配の声が上がり、反対の声が広がりました。</p> <p>世界的にもコロナ蔓延はカジノ産業にとっても逆風になり、マリーナに強行誘致された場合には、あそこに大きな廃墟ができるのではないかと、そんな心配の声までも上がっています。</p> <p>結論として、県の IR・カジノ計画は撤回していただきたい。</p> <p>少なくともオミクロン蔓延という、異常事態の中で強行するのではなく、1 年ぐらい時間をとって県民的議論をすべきだということをお願いして、私の意見陳述とさせていただきます。</p>

	公述人 1
意見に対する和歌山県の考え方	<p>IR の誘致は、地域の活性化に有効な方策であり、雇用創出や経済成長、人口減少の抑制などの効果について大いに期待できることから、またとないチャンスと捉え、全力で取り組んでいるところです。</p> <p>一方で、いくら県勢の発展に資するからといって、社会的リスクをないがしろにはならないため、県民の皆様が不安に感じておられるカジノ施設に起因する「ギャンブル依存症」や「破産リスク」については徹底的に排除していかなければなりません。そのため、IR 整備法で定めている世界最高水準の重層的で多段階的な規制に加え、使用上限額を設置して現金をチャージする「IR カードの導入」や「依存症対策専門員の配置」といった和歌山県独自の対策を IR 事業者に求めています。これらの内容は、他府県と比較しても具体的に踏み込んだものとなっており、論理的に考えて、「ギャンブル依存症」や「破産リスク」は排除できると考えています。</p> <p>次に、和歌山 IR における宿泊施設は、アジア初のシーザーズ・パレスとして、米国を中心に 80 年以上にわたり 50 施設以上のリゾート施設の運営実績を有し、全米屈指のホテルオペレーターでもあるシーザーズ・エンターテインメントが長年培ったホテル運営サービスを提供することにより、世界中からの来訪者を集め、長期間滞在していただける施設となる予定です。また、近隣のビジネスホテルと異なるグレードや価格を設定する予定であり、既存の宿泊施設と差別化が図れるよう計画されています。観光庁資料（出典：「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査（2018 年度版）」）においても、訪日外国人旅行者の 70% が日本旅館への宿泊を希望していることから、旅館への宿泊を望む来訪者や、より低予算での宿泊を望む来訪者は和歌山 IR 近隣の宿泊施設に滞在していただくなど、IR 施設を含む周辺地域が一体となり多様な宿泊需要に適切に対応できると考えています。</p> <p>また、和歌山 IR における国際会議場施設及び展示等施設については、従来では和歌山県で受けることが出来なかった大型の国際的な会議や国際会議と展示会が一体となったイベントなど、新たな需要の獲得が期待され、そういった大規模案件などを誘致することにより、サテライト会場での小会議の開催など県内全体で MICE の件数増加等が見込まれると認識しております。国際会議以外にも、グローバル企業をはじめとする様々な企業の会議、企業が行う報奨及び研修旅行、さらには、音楽コンサートや演劇、ダンス等様々なエンターテインメントの誘致・開催を予定しており、施設計画においても、会議場と展示場を一体利用できる「エクステンション型アリーナ」機能など多種多様なイベントに柔軟に対応できる設計となっており、稼働率向上のための要素を兼ね備えています。なお、和歌山 IR では、最先端テクノロジーを活用した IR によるこれまでにない体験に加え、古くから受け継がれてきた和歌山の自然や伝統・文化の実体験のいずれも存分に楽しんでいただける「リゾート型 MICE」環境を整備することで、「都市型 MICE」と異なる価値を創出することをめざします。</p> <p>ご指摘のとおり和歌山県では、IR 整備法が制定される以前は、県民がギャンブル依存症に陥るリスクがあるのであれば、カジノ施設に関しては外国人専用とすることを考えていましたが、IR 整備法の内容が明らかになり、法に基づく依存症対策に加え、和歌山県独自の対策を行えば、外国人専用である論理的な理由はないため、和歌山 IR では国内外からの来訪者に楽しんでいただける施設を予定しています。</p> <p>資金調達につきましては、初期投資額 4,700 億円のうち、自己資本の約 1,450 億円は、中核株主としてクレアベストニームベンチャーズ株式会社、Clairvest Group Inc. シーザーズ・エンターテインメントが 60% を出資するとともに、現時点では、少数株主として西松建設株式会社や、Cantor Fitzgerald、Global Gaming Asset Management Company、Hanwha Investment & Securities Co. Ltd といった企業が 40% を出資する計画となっています。また、他人資本の約 3,250 億円は、主幹事行となるクレディ・スイスをはじめとした金融機関からの借り入れや社債発行をバランス良く組み入れて調達することを検討しており、主幹事行は、和歌山における IR 事業を評価した上で、資金調達について確信を示しているところです。これらにより、資金計画については一定のレベルに達していると認識しております。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、観光産業は依然厳しい状況にあるものの、開業時期は 2027（令和 9）年秋頃を予定しており、中長期的には、観光需要は回復していくものと考えております。海外の状況としましては、全米商業カジノの売上において、2020（令和 2）年度は大幅に落ち込んだものの、2021（令和 3）年度は 2019（令和元）年度を上回る数値に回復しています。また、区域整備計画（案）に関する住民意見の聴取については、公聴会の開催に加え、30 日間のパブリックコメントや、計 14 か所で説明会を実施・開催するなど丁寧な県民の理解促進に取り組んでまいりました。今後は、立地市である和歌山市の同意を得た上で、県議会において審議をしていただく予定です。</p>

	公述人 2
区域整備計画（案）に係る意見	<p>私は IR に反対する立場から意見を述べさせていただきます。</p> <p>和歌山 IR で一番大切なことは地元の合意です。先日この海南で説明会が行われた、翌日の新聞の見出しはどうだったのでしょうか。IR 疑問の声相次ぐ。事業内容に疑問や懸念。理解の通らない声、IR 不満の声目立つ。相次ぐ質問。回答に不満、等。各新聞の論調は全て、参加した海南市民が納得した内容ではなかったように報じています。</p> <p>和歌山 IR の目的は県議会で知事が述べたように、地域振興に貢献するためとされていますが、本当にそうでしょうか。</p> <p>そもそもが IR 事業者の売り上げの総体は、カジノの負けであります。IR カジノの利用者の 80% が日本人とされ、日本人の金融資産 1,800 兆円が狙われているのではないかと、私は考えています。カジノは囲い込みです。コンプという景品を使って囲い込む。和歌山 IR に来たお客は地域に出ないのが、カジノです。</p> <p>IR カジノの本場米国でカジノ事業の内装などを長年手がけてきた、建築デザイナーのブラウス氏は、「IR カジノは設計者が計算してカジノに誘導する巨大な仕掛けです。来たお客が熱中して、ギャンブル依存症にならなくてはもうからない仕組みが、IR カジノです。IR カジノとは入場した途端にスタートする精密に計算された金銭収奪装置である。」と述べていました。</p> <p>まさにカジノの客の観光は IR 内で完結するのです。またカジノはカニバリゼーション、共食いとも言われています。2030 年度の売り上げは 2,300 億円として、ゲーミング 1,800 億、ノンゲーミング 500 億円としています。どちらの収益もカジノに依存しています。</p> <p>売り上げは 2,300 億円とするならば、そのために 3 兆円あまりの賭博をして初めて 2,300 億円の粗利益が運営業者に落ちるのです。</p> <p>そのギャンブルに使った 3 兆円余りのお金は、本来地域で使われ循環するはずのお金です。ところが、カジノギャンブルは、儲けを通じたポケットからポケットへのお金の移動です。カジノ側の利益の裏返しとして、ギャンブルで所得、購買力を失った側に損失が発生することを意味します。そのために周辺地域が疲弊するのです。その実例が隣の国のカンウォンランドであり、米国のアトランティックシティです。この整備計画（案）には莫大な経済効果があるとする一方で、マイナスの経済効果が計算されていないのはなぜでしょうか。</p> <p>また海外からの観光客の増加に、IR 誘致を喧伝されていますが、カジノは不要だと思います。日本では 2010 年に 810 万人、2018 年に 3,119 万人と 3.62 倍増えています。2010 年にカジノを解禁したシンガポールとよく比較をされますが、カジノのない日本の方が、しんどいので取ります。増加が著しいのが明らかです。</p> <p>カジノは 365 日 24 時間営業であります。その中で最大の問題は特定資金貸付業務を認めたことです。これまでの公営ギャンブルでは、事業者がお金を貸し付けることはありませんでした。賭博で負けても、お金が無くなると貸してくれる。これが IR カジノで認められているのです。高齢者の方は信用ないが、資産はある。その方に 大量にお金を貸して、負けさせることができるのではないかと危惧されます。世界最高のカジノ規制とは名ばかりです。</p> <p>日本共産党参議院の大門実紀史さんの言葉を紹介します。IR カジノは経済活動になるのか、賭博で儲かるとか、賭博で稼ぐとか、賭博で人を呼ぶとか、そもそもその考えがおかしいのではないのか、という経済論。嫌なものは嫌だ、本来これは経済になるのか。世界中どこに行っても共通なのは、売春と闇金融は付き物。周辺地域には、且つ反社会的な勢力がはびこる。</p> <p>僕が住んでいる海南市は、自然と海と山に囲まれた町であり、全国有数の寺社仏閣の数があります。そして熊野古道の入口にある、有馬皇子の伝説に由来する、文化伝統の町です。観光の街でもあります。そして誘致場所であるマリーナは今毎日放映されています、カムカムエブリバディのロケ場所にもなっています。この場所は映画 CM の撮影場所として全国で紹介され、今では多くの観光客がこの海南市を訪れています。</p>

	公述人 2
区域整備計画（案）に係る意見	<p>マリーナの入り口にある体操クラブでは、毎年お別れ遠足はマリーナのポルトヨーロッパ。近くの温山荘で花火をし、水族館に行っています。</p> <p>そうした地域が一変することを、どうしても見過ごす訳にはいきません。</p> <p>どうか人の不幸で富を築くような、和歌山 IR を止めてほしいと思います。</p> <p>人の不幸や命の問題で、経済発展を図る必要は全く必要ないし、私は和歌山 IR を是非断念していただくようお願いして、これで私の発言を終わらせていただきます。</p>

公述人 2

日本型 IR は、地域の創意工夫及び民間の活力を生かした国際競争力の高い魅力ある滞在型観光を実現し、地域経済の振興に寄与するとともに、適切な国の監視及び管理の下で運営される健全なカジノ施設の収益が社会に還元されることを基本として行われるものという基本理念の下、法制度が整備されたものです。

和歌山 IR は、国際的な MICE ビジネスを展開すること、世界中から観光客を集めること、来訪者を国内各地に送り出すことを目標に、県と IR 事業者が連携して MICE 誘致や観光誘客に関する様々な施策を講じることとしており、これまで和歌山に来られることのなかった来訪者を世界中から集客することで、IR 施設内では、多くの新たな需要が生み出されるものと考えております。

また、ご指摘いただいたコンプは、世界の多くのカジノで採用されている顧客サービスであり、和歌山 IR においても採用される予定です。コンプは、和歌山 IR への再訪の動機付けになりますが、それは、和歌山 IR の目標の 1 つである、来訪者を国内各地に送り出すことの後押しにもつながるものと認識しています。

なお、IR は裾野の広い様々な産業により運営される複合観光施設であるため、誘致によりもたらされる経済効果、雇用効果はこれまでにない規模となり、和歌山 IR がもたらす運営時の経済波及効果は開業 3 年後の 2030（令和 12）年度で約 3,500 億円と県内総生産額の約 1 割にあたります。一方で、ご指摘のマイナスの経済効果、カジノ施設の設置及び運営に伴う社会的費用の算出については、カジノを原因とする個別具体的な影響の全てを正確に把握し、全ての事象に係る費用を把握することは極めて困難であるとともに、世界的に確立された算出モデルが存在しているとは言い難い状況であることから、計画において社会的費用の算出は行っておりません。ただし、カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うために必要な施策及び措置に係る費用の見込みについては区域整備計画に記載していくとともに、区域認定後は、実態調査を毎年度を目途に実施し、カジノ施設の設置及び運営に伴う地域への社会的影響を把握・分析してまいります。

訪日外国人旅行者数については、外国人延べ宿泊者数の約 6 割が三大都市圏に集中しており、東京や大阪といったゴールドルート以外の地域を含めた各地への誘客が課題となっております。和歌山 IR では、コンセプトの一つに「Undiscovered Japan」を掲げ、世界にまだ知られていない日本の魅力を広めて来訪の好循環を創出することとしており、IR 施設内に設置される送客施設においても、日本の魅力をショーケースとして紹介し、IR への来訪者を、関西圏のみならず日本全国を対象に、地方部へも積極的に送客を行うことで、IR 整備の効果を広域的に波及させることとしており、IR 施設内に来訪者を囲い込むようなことは致しません。

特定資金貸付業務については、諸外国では、あくまで利便性の観点から、カジノにおける貸付業務が、カジノ行為に付随した顧客への限定的なサービスとして必要な範囲で認められており、我が国でも特定複合観光施設区域整備推進会議取りまとめ（2017（平成 29）年 7 月 31 日）において、諸外国と同様に顧客の利便性向上のため、特定資金貸付業務を認めるべきとされました。これを受けて、IR 整備法令において厳格な規制の下に、特定資金貸付業務が導入されております。

具体的には、日本人及び国内居住の外国人への貸付については、1,000 万円以上の金銭を預託した者に限定し、1,000 万円以上を預託した者であっても返済能力調査において、貸金業法で定める指定信用情報機関の情報等を使用して、少なくとも、年収、預貯金、カジノに係る債務（特定資金貸付契約に基づく債務）、その他の借り入れの状況について調査することとしており、その結果に基づき貸付の判断を行うこととなります。また、調査に基づき、顧客ごとの貸付限度額の設定を義務づけるとともに、貸付限度額を超える貸付を禁止するなど、厳格な規制が課されております。また、当然のことながら、顧客の個人情報については、個人情報保護法等を遵守の上、適正かつ厳格に取り扱われます。

治安対策については、IR が県勢の発展に資するからといって、社会的リスクをないがしろにしてはならないため、県民の皆様が不安に感じられる治安の維持は重要と考えております。

そのため、IR 区域及びその周辺においては、IR 事業者が、警備員による巡回や IR 区域内への防犯カメラの複数設置等、海外の知見を生かした自主的な各種治安対策を講じることとしています。

意見に対する和歌山県の考え方

	公述人 2
意見に対する和歌山県の考え方	<p>また、IR 区域周辺については、警察官の増員や交番の新設等による警察力の強化や、防犯カメラの設置等の対策を行うとともに、都市計画制度に基づく土地利用規制を実施し、IR 区域内を含む和歌山マリーナシティ島内への「質屋・貸金業」、「性風俗関連特殊営業」の設置を禁止するなど、IR 事業者と和歌山県、和歌山市、和歌山県公安委員会及び和歌山県警察等関係機関が連携の上、犯罪抑止、風俗環境の保持、青少年の健全育成等の対策を講じることとしています。</p> <p>和歌山県では、新型コロナウイルス収束後の地域経済復興のためのエンジンとなり、変容する新しい世界で飛躍できるよう、和歌山 IR の実現をめざしてまいります。</p>

	公述人 3
区域整備計画（案）に係る意見	<p>今、コロナ禍の中で非常に経済がひっ迫しております。また同時に、少子高齢化も進んでおるわけでございます。</p> <p>我々を取り巻く経済環境というのは、非常に厳しいものがあると思います。特に和歌山県内においては、その限りがないほど厳しく、そう認識をしております。直近によりますと、有田市のエネオスも撤退します。</p> <p>私、有田の方から来ましたが、本当に、火の消えたような状態になるのではないかなと、こんなことを意識をして、思っておるわけでございます。</p> <p>そんな中で、是非とも、地域経済の活性化、和歌山県の活性化のためには、是非、和歌山県に IR、リゾート型を誘致をしていただきたく、田嶋理事を筆頭に、当局の皆さん方に、強くお願いする次第でございます。</p> <p>そんな IR、統合型リゾートでの整備計画（案）については、先日の説明会、あるいはまた、県民だより等々において、大筋、私も把握はさせていただきました。</p> <p>ですけれども、まだまだ不十分なところがあるかと思えます。</p> <p>私の意見といたしましては、整備計画（案）の中で、MICE 計画、そして集客、それから、お客さんを送客する観光地、これについてはもう少し規模を縮小してもよいのではないかなと、こんなに思います。</p> <p>そういう中で、もう 1 つ、IR を誘致するにあたって、一番大事なことは資金計画ではなかろうかと思っております。</p> <p>4,700 億円の総額でございまして、そのうち、1,450 億円、約 30% が出資額でございまして、その他、3,250 億円、これは約 70% になろうかと思えます。</p> <p>それは借入れで対応するというふうにも、説明会ではお伺いしております。その借入れについて、クレディ・スイスという、世界的な金融機関が中心となって、投資者を募って 3,250 億円を集めるということでございますけれども、クレディ・スイスという会社自体、皆さん方ご承知かと思えますけれども、半分投資の会社でございます。</p> <p>全て 3,250 億円が、クレディ・スイス 1 社でまかなうということではございません。</p> <p>このクレディ・スイス銀行が責任を持って対応するとのことではございますけれども、是非とも、その裏付けとなる、当局の皆さん方に、永田町へ提出するにあたって、コミットメントを必ず取っていただきたい、かように思います。</p> <p>これがなければ、この IR の投資が、私自身思うところによると、失敗に終わるのではないかなと、こんなに思いますので、今現在のところ不十分なところあるかと思えますけれども、まだ、国への提案の中で時間もあろうかと思えますので、1 つ 1 つ確認はしながら、丁寧に提案書を国の方へ提出いただければ、必ず誘致に成功するのではないかと確信をいたしております。</p>

	公述人 3
意見に対する和歌山県の考え方	<p>IR の誘致は、地域の活性化に有効な方策であり、雇用創出や経済成長、人口減少の抑制などの効果について大いに期待できることから、またとないチャンスと捉え、全力で取り組んでいるところです。</p> <p>IR による経済波及効果は様々な産業に及び、開業 3 年後の 2030（令和 12）年度で約 3,500 億円と推計しており、これは和歌山県の県内総生産額の約 1 割にあたります。</p> <p>シンガポールの例をみても、2010（平成 22）年の IR 開業を機に観光客や観光収入、実質 GDP は大きく増加しています。</p> <p>また、県としましては、税収の増加等による財政改善に加え、IR 事業者から納入される納付金・入場料納入金といった新たな歳入が生まれるため、地域産業の活性化や社会福祉の増進、教育の振興などの県民がその利益を直接享受できる施策の充実が図れ、県民生活をより豊かにし、和歌山県の持続的な発展を実現できるものと考えています。</p> <p>和歌山 IR は、MICE 施設や魅力増進施設、送客施設、宿泊施設、カジノ施設などからなる複合施設であり、ビジネスからレジャーまで、大人から子供まで、外国人でも日本人でも幅広い層のお客様が来訪される予定です。</p> <p>例えば、最大収容 9,000 人以上の最大会議室と、6,000 人以上収容の大会議場及び合計 6,000 人以上収容の小・中会議室からなる国内トップクラスの規模を誇る国際会議場施設と、20,000 ㎡の規模を有する展示等施設で構成される MICE 施設では、従来では和歌山県で受けることが出来なかった大型の国際的な会議や、国際会議と展示会が一体となったイベントなど、新たな需要の獲得が期待されるほか、多種多様なイベントを開催することができる MICE 施設の特徴を生かして、音楽コンサートや演劇、ダンス等様々な有力コンテンツを誘致する計画としており、特に、シーザーズ・エンターテインメントの保有する業界ネットワークを活用し、北米をはじめとする海外からの大型の音楽やエンターテインメントイベントの誘致も手がけていくこととしています。</p> <p>また、宿泊施設においては、アジア初のシーザーズ・パレスとして、米国を中心に 80 年以上にわたり 50 施設以上のリゾート施設の運営実績を有し、全米屈指のホテルオペレーターでもあるシーザーズ・エンターテインメントが長年培ったホテル運営サービスを提供することにより、世界中からの来訪者を集め、長期間滞在していただける施設となる予定です。</p> <p>以上のことから、施設規模等について過剰な計画ではなく、十分達成可能なものであると認識しております。</p> <p>なお、資金調達につきましては、国からはその確実性を裏付ける客観的な資料として、「コミットメントレター等」の書類を提出することとされています。IR 事業者が取得しているハイリーコンフィデントレターは、クレディ・スイスが、和歌山における IR 事業を評価した上で、資金調達について確信を示している旨の資料となります。ハイリーコンフィデントレターは、カジノ免許取得前の段階の証明としては世界的に一般的であり、これまでクレディ・スイスのハイリーコンフィデントレターを基にカジノライセンスが発行され、実際に資金調達を実施した事例は数多く存在しており、資金調達ができなくなった例は確認できていません。県としては、現在取得しているハイリーコンフィデントレターは、国への申請前の資料として、「コミットメントレター等」と同等の効力があるものと認識しています。</p>

	公述人 4
区域整備計画（案）に係る意見	<p>私は統合型リゾート建設に賛成です。 これから4月、国に提出する原案の問題をしっかりと受け止め、改善し、完璧な整備計画で提出してほしいと思っております。 審査は大変厳しいそうです。どうか、認定されることを願っております。 地域の活性化、関西電力の火力発電の停止・撤退。また本年に入って、ENEOS 製油所の中止・撤退と、大変地元にとって厳しいところでもあります。なんとか新しい企業を、是非、IRをと願っております。</p> <p>整備計画（案）、色々に対応されていますが、私の心配しているのは、IR 区域外からの交通環境と思います。42号線は今でも少し問題が生じれば渋滞になってしまいます。 藤代インターからマリーナまで、約4キロメートル、普段では15分、それが一時間以上ののろのろ運転になります。 まだ国土交通省からIRの認定がされていないので県の皆さまも現状改善しか出せないのではないかと、思います。私の一つの所見ですが、自動車道藤代インターから冷水方面へ、そしてマリーナの南へ、大橋で渋滞なく入れるようなことになれば良いのかなと思っております。すばらしい絶景を見ながら、マリーナへ入る、リゾート気分になるのではないかと、思っております。</p> <p>事業者は、このマリーナに4,700億円投資すると聞いております。ちなみに、海南市の一般会計、1年で246億円、約20年分の資金が出すそうです。 道路に対しても、企業もいろいろ考えておられるのではないかなと思っております。 5年前の1月、東京からの帰り、4時頃ですけども、新大阪駅でくろしおを待っていましたら、いつもより乗客が多くなり天王寺で満席になりました。若者だらけです。和歌山駅で皆さんが降りました。その日は、和歌山市出身のHydeさんのコンサートがあったそうです。こんな和歌山まで新幹線を使って、本当に驚きました。</p> <p>IRの施設の中には、大規模な会議場や展示場、アリーナが作られると聞いております。コンサートが開催されると聞いております。約7万から8万のお客が来られるそうです。 海南市の市長にも相談していませんが、私は、是非、海南駅の改修を、阪和線を海南駅から始発で、東側に切り込み線2か所ぐらい出してもらい、急行や普通の始発駅。</p> <p>2008年をピークに2010年には日本も人口が減ってきています。</p>

	公述人 4
意見に対する和歌山県の考え方	<p>ご意見いただきましたとおり、IRの誘致は、地域の活性化に有効な方策であり、雇用創出や経済成長、人口減少の抑制などの効果について大いに期待できることから、またとないチャンスと捉え、全力で取り組んでいるところです。</p> <p>IRによる経済波及効果は様々な産業に及び、開業3年後の2030（令和12）年度で約3,500億円と推計しており、これは和歌山県の県内総生産額の約1割にあたります。</p> <p>シンガポールの例をみても、2010（平成22）年のIR開業を機に観光客や観光収入、実質GDPは大きく増加しています。</p> <p>また、県としましては、税収の増加等による財政改善に加え、IR事業者から納入される納付金・入場料納入金といった新たな歳入が生まれるため、地域産業の活性化や社会福祉の増進、教育の振興などの県民がその利益を直接享受できる施策の充実が図れ、県民生活をより豊かにし、和歌山県の持続的な発展を実現できるものと考えています。</p> <p>和歌山が変容する新しい世界で飛躍できるよう、新型コロナウイルス収束後の地域経済復興のためのエンジンとして和歌山IRの実現をめざしてまいります。</p> <p>一方で、県民の皆様が不安に思われていることについては、それらを払拭するために必要な対策を講じていかなければならないと考えています。</p> <p>ご意見いただいた交通対策については、区域整備計画を作成するにあたり、「大規模開発地区関連交通計画マニュアル」に基づいて、和歌山IRの開業に伴う交通影響予測評価（平日・休日）を実施しました。その結果、「マリーナ入口」「琴の浦」交差点などにおいて、交通渋滞が想定されたため、交差点改良等の交通対策を実施する計画としております。</p> <p>また、拠点空港・駅から和歌山IRまでのシャトルバスを運行することで、和歌山IRまでのスムーズな来場と、交通渋滞の抑制を実現できるものと考えております。</p> <p>なお、区域整備計画の認定後は、影響範囲が大きいことも踏まえ、4段階推定法等の手法を用いて、より詳細に交通計画を検討することを予定しており、県とIR事業者は関係機関と連携の上、「次世代交通」や「海上交通」などの導入も含めて検討してまいります。</p> <p>ご提案いただいた、冷水方面から和歌山マリーナシティへの大橋といった新たな道路整備については、現時点では想定しておりませんが、いただいた貴重なご意見として、今後の参考にさせていただきます。</p> <p>また、公共交通機関については、ピーク時において鉄道の増便を行うほどの混雑影響は少ないと予測しております。</p> <p>区域整備計画の認定後、県とIR事業者は、県民の皆様の不安を払拭できるよう、関係機関と連携の上、交通アクセス環境の改善・充実に取り組んでまいります。</p>

	公述人 5
区域整備計画（案）に係る意見	<p>私はカジノを含む和歌山 IR 計画に今求められているのは、引き返す勇気であろうということについて意見陳述をいたします。</p> <p>一つに、仁坂知事さんは、「多数の支持を得て知事になった。民意は十分反映している。」と語っています。</p> <p>しかし、それは詭弁です。その選挙で行った NHK 出口調査のアンケート結果は 58% がカジノ反対でした。また、カジノ反対の方も 7 割が知事に投票したと報じていました。なので、知事になるよう支持した多数の民意は、その多数がカジノ反対です。このように事実と反する詭弁を駆使して、進める計画に県民の理解と合意があると言えるはずがありません。</p> <p>二つに、カジノ IR 実施法成立時は新型コロナ感染とは無縁の時でした。数千億円から一兆円規模の投資額の大きさや、インバウンド、訪日観光客で成長産業という動きがあったかもしれません。</p> <p>しかし、新型コロナ感染に見舞われて、カジノやインバウンドの世界は、地上からネットへの移行が顕著になり、国際会議等もリモート会議が主流になりました。</p> <p>この変化は、コロナ収束後も元に戻ることはないかと予想され、いまやハコモノ、カジノ IR は衰退産業とまで言われています。</p> <p>加えてロシアのウクライナ侵攻も深刻です。</p> <p>インバウンドをもてはやして、儲ける世界環境ではなくなりました。</p> <p>このように激しく変化しているのに、変化前の目論見で進める計画に県民の理解と合意があると、言えるはずがありません。</p> <p>三つは、新型コロナ感染前に進出に意欲的だったバリエールが事業者選定に応募せず撤退し、その後進出に意欲的だったサンシティも認定直前に撤退した結果、クレアベストグループが選ばれました。</p> <p>しかし、それはその 1 社しか残らなかったからです。しかも、クレアベストは投資会社であり、カジノ運営、ノウハウに乏しく、自前で運営するつもりもなかった、と見られます。その後、シーザーズと組むとしましたが、同社は数年前に破綻を招いています。それでも、カジノ運営に携わると言うために、出資すると言われています。</p> <p>しかし、その出資割合はクレアベストの 1 割にも満たない割合で、株主権利も乏しく、管理の度合いが名義貸し程度、ではないかという不安が拭えません。</p> <p>このようなもて作られる中核株主、事業主体に県民の理解と合意があると言えるはずがありません。</p> <p>これらを顧みれば、仁坂知事さんや和歌山県に今求められるのは、立ち止まり引き返す勇気です。</p>

	公述人 5
意見に対する和歌山県の考え方	<p>IR 整備法においては、区域整備計画を作成しようとするときは、公聴会の開催など住民の意見を反映させるために必要な措置を講じなければならないこととされており、加えて、国への計画の申請にあたっては、立地市である和歌山市の同意、県民の代表である県議会の議決を得ることが求められており、地域の合意形成を図る仕組みが確立されているといえます。</p> <p>今後、国への計画の申請にあたっては、こうした法定手続きを丁寧に実施していく予定です。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響については、現在、観光産業は依然厳しい状況にあるものの、開業時期は 2027（令和 9）年秋頃を予定しており、中長期的には、観光需要は回復していくものと考えております。全米商業カジノの売上においても、2020（令和 2）年度は大幅に落ち込んだものの、2021（令和 3）年度は 2019（令和元）年度を上回る数値に回復しています。</p> <p>また、MICE に関して、コロナ渦によるオンライン開催に伴い、対面形式による MICE の価値が改めて見直されていることが、観光庁資料において示唆されるなど、今後、開催方法が多様化しつつも対面形式がなくなることはないと考えています。</p> <p>和歌山 IR においては、世界トップクラスの MICE に対応した規模をもつ国際会議場施設をはじめとする高度な施設機能を有する MICE 施設を整備することにより、従来では和歌山県で受けることが出来なかった大型の国際的な会議や、国際会議と展示会が一体となったイベントなど、新たな需要を獲得することができると考えています。</p> <p>さらに、これらの施設はポストコロナの変化に対応した設備やテクノロジーも導入し、デジタルとリアルが融合したハイブリッド型 MICE にも対応可能な施設となる予定です。</p> <p>事業者選定へのご指摘については、クレアベストニームベンチャーズ株式会社及び Clairvest Group Inc. のコンソーシアムによる提案は選定委員会における審査の結果、審査基準を上回る評価を受けたため最終的に優先権者として選定いたしました。一方で、県は事業実施体制のブラッシュアップを求めており、その過程でシーザーズ・エンターテインメントが中核株主として加わることとなっております。</p> <p>なお、中核株主は、5%以上の議決権等を保有する認可主要株主等であり、カジノ管理委員会の認可対象として十分な社会的信用を有するかについて審査を受けることとなります。</p> <p>シーザーズ・エンターテインメントは、80 年以上にわたり 50 施設以上のリゾート施設運営実績を有しており、宿泊施設やカジノ施設をはじめ、MICE 施設、魅力増進施設などの運営においてもそのネットワークやノウハウを活用し、世界中から多くの集客を得ることとしております。</p>

	公述人 6
区域整備計画（案）に係る意見	<p>現在海南省の人口が5万人を切り、20年前に下津町と合併した時は6.5万人だったように思われま す。すでに1.5万人が減少しているということです。</p> <p>2月28日の説明会の後です。ノビノスの会場から出て驚いたのは午後8時40分には繁華街にもか かわらず、ほとんど人影もなくゴーストタウン化していると。</p> <p>これではシャッター街になるのも問題だし、現実に非常に厳しい海南省の状況が分かっておりま す。人口流出を抑えるためには産業を誘致する以外には手はないと思います。</p> <p>私はIRがマリーナシティにできるのは、海南省の人口を増加させられる機会だと考えております。 マリーナで働く人口は、この前の説明会であれば6,000人ぐらいと言っていました。海南省内 にマンション、アパート、戸建ての住居施設を作ることにより、仮に3,000人の居住場所を確保でき れば、家庭を持ち、また家族が増えるなど想定すると、海南省に約1万人の人口増加が期待できるの ではないでしょうか。</p> <p>また海南省は、少し奥のほうに上がっていくと海拔も上がってきます。だから高速の高架を超えた あたりより東側ですね。</p> <p>海拔1.5メートルはあると聞いております。和歌山市内ではなかなか1.5メートルという場所は奥 に入っていくとなくはくは、ないよう地理的に思われます。この事から、海南省は有利であり、 活気ある海南省を取り戻す良い機会だと捉えております。</p> <p>また、将来的にですね、成功すればマリーナの西側へ万トンバースを1キロから2キロぐらい出し て、客船が停泊できるようにすれば、海南省内の農業生産物を船で使用してもらったり、特産品の販 売や飲食と、できる場所は和歌山市であれど、おひぎ元は海南省。</p> <p>ということで、海南省が少し繁栄できるんじゃないかな。勝機は努力次第で、楽しみが持てると思 っております。</p> <p>また、IRのカジノで遊べる人は、世界のお金持ちが圧倒的で、多くの市民は周辺にできるアミュー ズメント施設で遊んだり、食事をして楽しむことが大半だと思われま。</p> <p>大阪市は出遅れている感があります。また、色々土壌汚染等々、また25年には万博もありですね、 まだまだカジノ、IRですね、建設にはまだまだ、なかなか時間がかかると思います。</p> <p>まずは、和歌山マリーナシティで日本初のIRを成功させ、海南省民も切磋琢磨して、このビジネ スチャンスに乗って、海南省の発展のために頑張るはいかかでしょうか。</p> <p>こういうふうには思っております。</p> <p>94年のリゾート博のときには、非常に海南省も潤ってですね、私の記憶では海南省内もたくさん の人で、ごった返すとはいきませんでしたけども、そこそこの賑わいがありですね、皆希望を持てたの ではないかなと思っております。</p> <p>こういうことも含めて、IR、規制を上手く利用して世界中のお金持ちに来ていただいて、その周辺 で一般の人はIRという施設の中で楽しむと、これが非常に良いように思います。</p>

	公述人 6
意見に対する和歌山県の考え方	<p>IR の誘致は、地域の活性化に有効な方策であり、雇用創出や経済成長、人口減少の抑制などの効果について大いに期待できることから、またとないチャンスと捉え、全力で取り組んでいるところです。</p> <p>IR による経済波及効果は様々な産業に及び、開業 3 年後の 2030（令和 12）年度で約 3,500 億円と推計しており、これは和歌山県の県内総生産額の約 1 割にあたります。</p> <p>シンガポールの例をみても、2010（平成 22）年の IR 開業を機に観光客や観光収入、実質 GDP は大きく増加しています。</p> <p>また、県としましては、税収の増加等による財政改善に加え、IR 事業者から納入される納付金・入場料納入金といった新たな歳入が生まれるため、地域産業の活性化や社会福祉の増進、教育の振興などの県民がその利益を直接享受できる施策の充実が図れ、県民生活をより豊かにし、和歌山県の持続的な発展を実現できるものと考えています。</p> <p>ご意見いただきました従業員の居住場所について、和歌山 IR における運営時に施設内で雇用する従業員数は約 6,300 人（IR 事業者として直接雇用する従業員数）を見込んでおります。</p> <p>IR 事業者においては、当該従業員について、必要に応じてリモートワークなど多様な働き方を認めつつ、極力和歌山県内に居住することが、域内の所得税収や消費増加の観点からも重要であると考えています。</p> <p>従業員が和歌山県内に居住したくなるような環境を整備するため、IR 事業者として従業員宿舍の設置に努めるとしており、区域認定後、和歌山市及び海南市をはじめとする地域の皆様のご協力を得ながら進めてまいります。</p> <p>また、和歌山マリーナシティの旅客船ターミナルの整備については、県民の皆様からいただいた貴重なご意見として、県の所管部局に伝え、今後の参考にさせていただきます。</p> <p>和歌山 IR は、MICE 施設や魅力増進施設、送客施設、宿泊施設、カジノ施設などからなる複合施設であり、ビジネスからレジャーまで、大人から子供まで、外国人でも日本人でも幅広い層のお客様が来訪される予定です。</p> <p>和歌山 IR ではコンセプトに「Undiscovered Japan」や「Sustainability」を掲げ、魅力増進施設において和歌山の食文化などの体験を発信することで集客につなげ、送客施設において和歌山の観光の魅力を発信するとともに新たな旅の動機付けを行い、県内観光地へ送客することで、県内全域に IR の効果を波及させ、IR と観光地が持続的に発展できるような計画としています。</p> <p>和歌山が変容する新しい世界で飛躍できるよう、新型コロナウイルス収束後の地域経済復興のためのエンジンとして和歌山 IR の実現をめざしてまいります。</p>

	公述人 7
区域整備計画（案）に係る意見	<p>私は IR について反対です。 治安対策全般について質問させていただきます。</p> <p>前回ですね、私は説明会にも参加しました。そして、こういう資料ですね、説明会の案内資料を読まさせていただきました。この中でですね、インドネシア、リー・シェンロン首相演説内容「Not a Casino, but an IR」と書かれています。この資料の通り、私ちょっと読まさせていただきました。</p> <p>カジノの導入について検討しているのではなく、IR 統合型リゾートの導入について検討している。カジノの導入について検討しているのではなく、と否定しているんですね。</p> <p>次、IR は、レジャーやエンターテインメント、ビジネスの場である。</p> <p>次、IR は毎年大勢の人々を魅了しており、その大多数はギャンブルをするために IR に来ているのではない。リゾートを楽しむ旅行者であり、展示会や会場に参加する経営者やビジネスマンたち。</p> <p>次、小規模であるが重要な施設としてゲーミング、カジノのことをゲーミングという名前を変えているわけですね。</p> <p>ゲーミングを提供する場が設けられており、プロジェクト全体の経済的継続性を支えていると、紹介しています。</p> <p>上記 4 つあるんですけども、3 項目を読むとカジノについて検討の必要性を考慮していない旨の内容である。</p> <p>そして、最後の項目でカジノのことをゲーミングと表現しています。</p> <p>このリー・シェンロン首相の演説はいかにもカジノから目を逸らさせたい意向が十分にあり得る。</p> <p>この演説を引き合いに出した IR、和歌山県 IR 推進担当者に対して道理性を疑います、私は。こういう内容のものを持ち出して、そしてカジノは大丈夫やとか、カジノの話は無いんだと。そういう、どう言ったらいいんか、こういうものを持ち出すこと自体、私 IR のレベルが、担当者のレベルが低いんじゃないかと理解します。</p> <p>次に進めますけども、和歌山県に国際マフィアに対するインテリジェンス、あるんでしょうか、と質問しますね。回答はないということですけども。</p> <p>これはね、日本の国にもないんですよ。今、ロシア、ウクライナ、戦争ですけども、ロシアとかね、そういう国はインテリジェンス、沢山持っています、首長国ね。北朝鮮もありますよ。日本よりよっぽどな、数倍のインテリジェンス持ってますよ。経済的には日本の 50 分の 1 ですけども。</p> <p>そして安全対策として、マフィア対策として、警察もいろいろ駐在所を置くとか言ってますけど、カジノ、マフィアというのは警察も巻き込むんです。融合してしまうんです。</p> <p>汚れた金を正常化するマネー・ローンダリング。こういうことをね、隠れ蓑、これが最大の目的なんですよ。ここを重点をおいてもらわんとね。こんなノウハウは日本にありません、全く。</p> <p>それから説明会で和歌山県主導のね、資料を作成してない。業者とともに作ってる。こんなノウハウのない県がね、作れることないです。</p>

	公述人 7
意見に対する和歌山県の考え方	<p>IR 施設について、専らカジノ行為の用に供される部分の床面積は、施設全体の床面積の 3% を超えないことが IR 整備法で規定されているため、カジノを行う部分はごく一部で、MICE 施設や魅力増進施設、送客施設、宿泊施設といった部分が大半を占めており、ビジネスからレジャーまで、大人から子供まで多種多様なニーズに対応できる施設となっています。</p> <p>このことを端的に表現するために、「和歌山県統合型リゾート (IR)」説明会において、シンガポールのリー・シェンロン首相演説を引用させていただきました。</p> <p>事例では、シンガポールにおいて、IR を導入することにより、観光収入や実質 GDP が大幅に伸びるとともに、IR 開業前からギャンブル依存症の対策を行うことでギャンブル等依存が疑われる者等の割合は低下しています。</p> <p>このように、IR の誘致は、地域の活性化に有効な方策であり、雇用創出や経済成長、人口減少の抑制などの効果について大いに期待できることから、またとないチャンスと捉え、全力で取り組んでいるところです。</p> <p>また、県としましては、税金の増加等による財政改善に加え、IR 事業者から納入される納付金・入場料納入金といった新たな歳入が生まれるため、地域産業の活性化や社会福祉の増進、教育の振興などの県民がその利益を直接享受できる施策の充実が図れ、県民生活をより豊かにし、和歌山県の持続的な発展を実現できるものと考えています。</p> <p>一方で、県勢の発展に資するからといって、社会的リスクをないがしろにはしないため、県民の皆様が不安に感じておられるカジノ施設に起因する「ギャンブル依存症」や「破産リスク」については徹底的に排除し、治安も維持していかなければなりません。</p> <p>ご意見いただいた反社会的勢力の排除については、まず、カジノ事業者である IR 事業者は、カジノ事業の免許を受けるにあたり、役員や主要株主等に関し、カジノ管理委員会から徹底した背面調査がなされることとなっております。</p> <p>さらに、カジノ施設の従業員についても、カジノ行為業務や特定金融業務、カジノ行為粗収益の集計業務、監視・警備関連業務などの監督や総括管理を行う者については、カジノ管理委員会の確認を受けなければその業務に就くことができないなど、厳格な規制・義務が課されています。</p> <p>次に、カジノ施設への入場者については、カジノ管理委員会規則において、IR 事業者が独自に暴力団等反社会的勢力の情報を収集・整備し、マイナンバーカード等の本人特定事項と照合させるとともに、入場者には、暴力団等に該当しない旨を誓約させることとしております。加えて、和歌山 IR においては、平素から和歌山県警察と密接に連携するほか、IR 事業者、和歌山県警察、公益財団法人和歌山県暴力追放県民センターを構成員とする「暴力団排除協議会 (仮称)」を設置し、暴力団等に関する情報の照会の円滑化を図るなどにより、暴力団等を排除します。</p> <p>カジノ施設におけるマネー・ローンダリング対策については、日本独自の規制であるチップの譲渡・譲受・持ち出し禁止、顧客の指示を受けて行う送金先を本人口座に限定することなど、IR 整備法やカジノ管理委員会規則において、厳格な規制・義務が課せられています。和歌山 IR では、チップ等の譲渡・譲受・持ち出し管理は、警備員による監視、利用者や従業員の手元が撮影できる位置への監視カメラの設置に加え、IR カードにより、チップの交換・増減履歴・ゲーミング履歴を把握し、カジノ施設退場時における持ち出し管理を行うこととしています。100 万円を超えて行われる現金取引についても、カジノ管理委員会への届出を徹底し、疑わしい取引について届出を行うこととしています。</p> <p>このように、法令による厳格な規制と和歌山 IR 独自の対策により、反社会的勢力を徹底して排除してまいります。</p>